

海老江東小学校 学校だより 3月号

海東

かいとう

平成27年3月2日

《今月の生活目標》

自分の使った机やロッカーやくつ箱をきれいにしましょう

3/11(水) 9:45~「校庭に芝生を植えよう」の催しを実施します

運動場の一部(約600㎡)を子どもたちと教職員・地域の皆さんで芝生化します。ご自由にご参加ください。

3月の予定

※行事予定は学校HPにも掲載しています。右のQRコードからお入りください。

日	曜	行事予定
1	日	
2	月	
3	火	体重測定34年 委員会・代表委員会 PTA合同反省会 ▲
4	水	体重測定12年 C-NET 来校 地域子ども会・集団下校①1・1・2▲
5	木	卒業を祝う会 お別れ給食 子育て交流会
6	金	体重測定56年
7	土	休業日
8	日	
9	月	▲
10	火	茶話会6年 ▲
11	水	校庭に芝生を植えよう 校内清掃6年 現金徴収日 ▲
12	木	現金徴収日
13	金	学校に芝生を植えよう(予備日)
14	土	休業日
15	日	
16	月	卒業式予行
17	火	
18	水	卒業式準備 C-NET 来校 ▲
19	木	卒業式 ▲
20	金	
21	土	春分の日
22	日	
23	月	給食終了 大掃除 ▲
24	火	修了式 ▲
25	水	春季休業
26	木	
27	金	
28	土	休業日
29	日	
30	月	
31	火	

▲印…放課後の校庭開放はありません。
◎印は、子どもの下校見守りにご協力いただく日です。

報告:学校運営に関する計画(11項目)の自己評価です

大阪市教育委員会では、小中学校において平成25年度から27年度の3年間について大阪市教育振興計画に従って中期目標を決め、その目標に向かって学校運営をしていくよう取り決めています。本校も中期目標を作成し、その達成に向けてさらに細かく本年度目標を設定して、日々の学校運営をしています。年度末のこの時期には、教職員で学校運営に関する計画(4つの視点・11項目)の年度末最終評価を教職員で行っています。下記に項目a~jについて達成状況を報告いたします。

【視点1 学力の向上】

a平成26年度の全国学力・学習状況調査における国語の主として活用の問題の正答率を全国平均より5ポイント向上させる。→ 達成

※H26:本校62.9 全国55.5 (カリキュラム改革関連)

a-1英語活動を通して、コミュニケーション力がついたと感じる子どもの割合を50%以上にする。→ 達成

※H27/1:81.0% (カリキュラム改革関連)

b児童一人当たり1日の家庭学習の時間を1.1倍の50分にする。→ 達成

※H27/1:50.7分 (カリキュラム改革関連)

c家庭学習の手引きを作成し全児童に配布して学年に応じた自主的な学習の仕方を理解させる。学校アンケートで「自主学習の仕方がわかった」の割合を70%以上にする。→ 達成

※H27/1:92.3% (カリキュラム改革関連)

d学校アンケートで「家で学校の予習・復習をしている(どちらかといえば、している)」の割合を70%以上にする。→ 達成

※H27/1:74.7% (カリキュラム改革関連)

【視点2 道徳心・社会性の育成】

e平成27年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがある」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。→ 未達成

※H26学テ(6年):77.5% H27/1学校アンケート(全学年):80.0% (カリキュラム改革関連)

f学校アンケートで、「すすんであいさつをしている(どちらかと言えばしている)」と答える児童の割合を80%以上にする。→ 達成

※H27/1:87.3% (カリキュラム改革関連)

g学校で認知した「いじめ」について、解消に向けて組織的に対応している割合を100%にする。→ 達成

※アンケートを実施し、いじめにつながると考えられる事案について早期発見即指導を行っている。(マネジメント改革関連)

【視点3 健康・体力の保持増進】

h平成24年度の体力テストの各種目の結果を分析し、弱点を補う運動を考案し、児童が平素から体力づくりに取り組める環境づくりを行う。→ 未達成

※弱点を補う運動を行っているが、体力・運動能力テストの結果は全国と比べて82~139%の範囲にあり、弱点克服に至っていない。(カリキュラム改革関連)

【視点4 外部人材の活用による学校活性化】

i平成24年度の地域人材活用数を1.5倍にして子どもの体験活動の場を増やすことで、「体験が将来に役立った(どちらかといえば役立った)」の割合を80%以上にする。→ 達成

※H27/1:のべ62名の活用 91.6% (ガバナンス改革関連)

j平成24年度の学識経験者人材活用数を2倍にして教職員の研修の場を増やすことで、「授業や指導に役立った(どちらかといえば役立った)」の割合を80%以上にする。→ 達成

※H27/1:のべ10名の活用 100% (学校サポート改革関連)

※裏面にH27/1に実施した児童・保護者アンケートを記載しています。学校HPからは経年比較できるグラフをご覧いただけます。